

# VW/AUDI 9907 取り付け説明書

装着前に必ずお読み下さい。

- 1、運転席エアバック（以下：SRS）を取り外しますと助手席、サイドSRSの衝突時の作動は推測出来ません。
- 2、SRS装着車には任意保険加入時に割引料金が自動的に適用されている場合があります。ステアリング交換時には必ず保険会社に確認して下さい。
- 3、当製品は2ピース構造になっております、上部と下部はボルトで接合されています、工場出荷時に規定のトルクで締め付けてありますので、絶対に緩めないで下さい。

## 取り付けに必要な工具

トルクスレンチ T55 ビニールテープ 細いマイナスドライバー（VWのみ）

装着手順（本書に使用している写真はNEW、BETTLERですがGOLF4/AUDIも同様です。）

### 1、作業開始準備



装着前に**タイヤとステアリングホイール**を直進状態にして下さい。

- 2、バッテリーの+端子を外して下さい。（作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。）

### 3、純正ステアリングの取り外し方法（AUDI A3の場合）



純正ステアリングホイールの裏側2ヶ所の穴からトルクスレンチ（T30）を使用してボルトを緩めて下さい。（終了後、NO.5へ進んで下さい。）

### 3、純正ステアリングの取り外し方法（VWの場合）



ステアリングコラム下のテレスコピック及びチルトレバーを調整してステアリングを一番手前の一番下にセットして下さい。

4、



ステアリングを左右どちらか 90 度切ってステアリングホイールの裏側の穴へ細いマイナスドライバーを差込、上方 → 方向へカバーが変形する位、引き上げて下さい、SRS ユニッ  
トはスプリングの力で → 方向へ浮き上がります。片側が外れましたらステアリングを逆  
に 90 度切り、同じ要領で片側も外して下さい。

(必ず切った方向から戻して反対側 90 度に切って下さい)

### SRS 固定構造

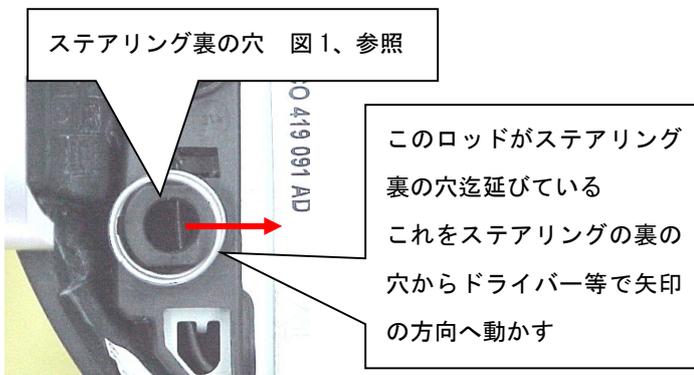
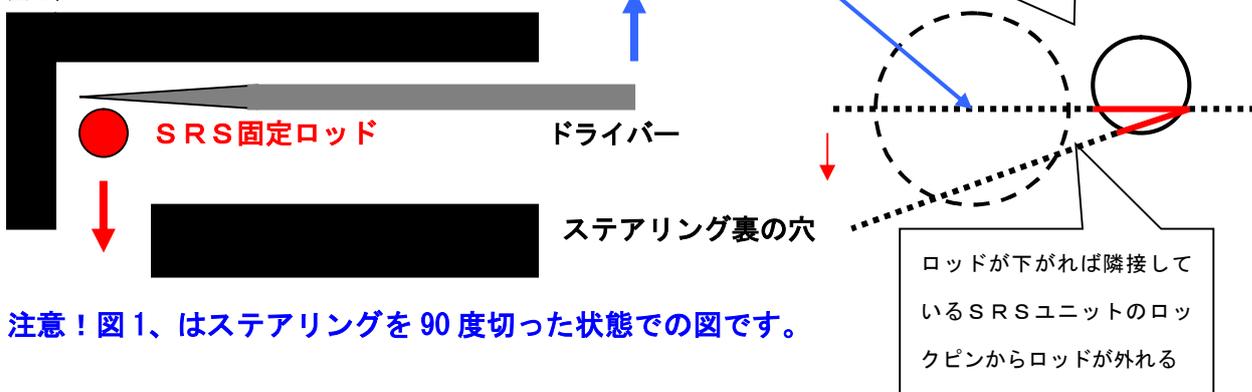


図 1、



注意！ 図 1、はステアリングを 90 度切った状態での図です。

## 5、SRSユニットの取り外し



ステアリングを直進状態に戻し、SRS本体モジュールを外し、裏側のSRSソケットを外して下さい。

**！ 取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。(テスター等も含む)**

## 6、



ホーン用配線2ヶ所を外して下さい。(平端子の小さい方が+です。)

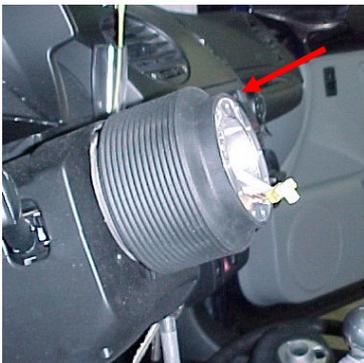
7、センターボルトをトルクス T55 で緩めて、ステアリングを外して下さい。

## 8、注意事項



車体側スパイラルは絶対に回さないで下さい。(左右の回転数が決まっています) 尚、写真は別の車種です。

## 9、ボスの取り付け



SRS ハーネスとホーンハーネスをボスの穴から通し、トップマーク (赤ペイント) を上にしてボスを装着して、センターボルトを軽く締めて下さい。

## 10、SRS モニターランプ対策



付属のジャンパー線をSRSコネクターの2ヶ所の穴に挿入してビニールテープ等で外れない様に固定して下さい。ジャンパー線には極性はありません。

(この線を使用しない又は接触不良ですと取り付け終了後、イグニッションキーを入れた時、モニターランプが消えません、消灯させる為にはディーラーの診断コンピューターが必要になります。)

**注：SRS警告灯の消灯を100%保証しているわけではありません。車両の個体差で消灯できない、もしくは時間が経ってから点灯してしまう場合があります。ご了承ください。**

## 11、配線の接続

### モモタイプの場合



アースリングにホーンリングを用い、アースリング付属線とアース線を接続して下さい。ホーンボタンに変換線を用いスパイラルケーブルからの配線に接続して下さい。

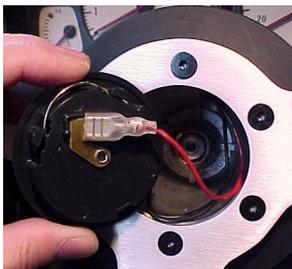
### ナルディタイプの場合



アースリングと配線のみご使用下さい。尚、ナルディサイズのホーンボタンは、ボスに挿入する際、スプリングをマイナスドライバー等で抑えながら挿入して下さい。プラスチック製の物は、多少削れながら挿入されます。

12、ステアリングをボスに仮づけしてセンターボルトを規定トルクで締めて下さい。規定トルクは  $30\text{N}\cdot\text{m}$  (3kg) です、強すぎますとボスのスプライン又はシャフトのスプラインを破損します。

### 13、ホーンキャップ取り付け



小さい方の平型端子に付属の端子変換ハーネスを取り付け、ビニールテープで絶縁して、ホーンキャップに差し込んで下さい。

**注意！** 車側から出ている平型端子の大きい方はマイナスですので絶縁の必要はありませんが、小さい方の端子はプラスですのでボス本体に接触しますとホーンが鳴りっぱなしになります。

### 14、作業終了



15、バッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをしエンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して下さい。

(ホーン/ウインカー/直進状態等に異常がある場合はバッテリー端子を外してから修正作業して下さい)

16、取り外したSRSモジュールは純正ステアリングに取り付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。(保管方法はディーラーにご相談下さい)

### トラブルシューティング

**Q** : SRSモニターランプが点灯する(消灯しない)

**A** : 作業中にイグニッションキーを入れた、ジャンパー線を装着していない、ジャンパー線の接続不良、等、

**対策** : ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピューターで消灯して下さい。

(ジャンパー線が接続されてなかったり、接続不良だと消えません)

**Q** : ステアリングのTOPが出ない

**A** : シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。

**対策** : ディーラー又は整備工場で調整して下さい。

**Q** : ステアリングを切ると異音がする

**A** : ボス内のSRSコネクタが干渉している

**対策** : 動いているカプラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい